



# 聖日(わかば)礼拝

今週のみことば

司会者	渡邊貞雄師	奏楽者	渡邊頼子師
讃美新340	救い主イエスと	—	同
讃美新355	主と共に歩む	—	同
交読詩篇	84:1~12	—	同
祈禱	(報告)	司会	同
讃美新317	わが友主イエスは	—	同
お証し	「キリストとの出会い」	北村正昭兄	同
讃美新205	主は捨て給わじ	—	同
聖書	<b>創世記 28:10~19</b>	司会者	渡邊貞雄師
説教	<b>「野原で神を知った男」</b>	渡邊貞雄師	
献金	新268 御国の心地す	北村正昭兄	
頌祝	新63 父、御子、御霊の	(起立)一同	渡邊貞雄師

ヤコブは眠りから覚めて、言った。  
 「まことに主はこの場所におられる。  
 それなのに、私はそれを知らなかった。」

創世記二八・一六



受=真理姉 / 操=中西兄 / A=幸子姉 / 報=牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2023年7月9日 VOL47-28 No. 2436

URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 今朝の礼拝は「聖日(わかば)礼拝」として讃美やお証しを交え、どなたも集いやすい礼拝です。
- ▼ 先週に引き続き今朝も、組会がもたれます。愛称:「さあー来る」(サークル)として、みことばの分かち合いと語り合いを、させていただきます。
- ▼ CCPN誌(祈禱課題)の7月号ができました。ぜひそばに置いてくださり、祈りの手を挙げさせて

いただきます。

- ▼ 今日の礼拝後は、昼食会(愛称:教会イートイン)として、食事の時間がもたれます。お互いが良き交わりのひとときとなりますように。
- ▼ 先週、出口様が久方ぶりに教会に見えられました。



# にれ はみ

2023年7月2日  
聖日礼拝  
創世記 27:1~40  
「祝福を奪うヤコブ」  
説教 渡邊貞雄 師



27章はヤコブの生涯。エサウのエサウへの祝福を、弟ヤコブが強引に奪った出来事。その結果は恐怖(41)。

## I、双子の兄弟

エサウとリベカに、兄エサウと弟ヤコブの双子が生まれた。ヤコブはエサウのかかとを掴んで出て来た(25:26)。ヤコブとは「かかとをつかむ者」の意味、また同語源で「騙す」の意味もある。ヤコブは兄を騙し父を騙し、他者を「押し退ける」性格でした(27:36)。兄は毛深く弟はすべすべでした。さらに兄は野原での狩りを好み、弟は母の側で穏やかに羊を飼う者へと成長した(25~27)。

やがてこの2人はスープ事件を起こす。狩りから帰り空腹のエサウは、弟からスープ一杯で長男の権利を交換してしまう愚かなやりとりが起きた(25:29~34)。エサウは霊的な価値に疎く、弟ヤコブはずる賢いが霊的価値に鋭い心をもっていたと言える。

## II、祝福の詐欺事件

ある日、母リベカは夫エサウがエサウを呼んで、神の祝福を与えようとしていることを耳にする。エサウの目は霞んでおり、それを良いことにヤコブに兄の変装をさせる。母もヤギ肉を鹿

肉に仕立てて偽装工作をリードする。

小心なヤコブは、この行為は自らに呪いを招くのではと母に言うが、母はその呪いは私が受けるとして強気で押し通してしまう。エサウから「声はヤコブの声だが、手はエサウの手だ」(22)と言われたが、これも強引に押し切ってしまう。エサウから見ればヤコブは「押し退ける者」であり母譲りの性格でもあったかも知れない。

## III、エサウの祝福

彼の祝福は①利己心でなく真底からの祝福と言ってよい。「私自ら、お前を祝福」(4)したいと語った。直訳では「私のたましいが」となり、人間の最も内部の核となる処からの願いであった。私たちも子どもに孫に、この祝福と霊的な宝を手渡したい。

②これは2つとない祝福(38)。もう一つはないし代用品も見あたらない祝福であった(38)。③これは永遠に続く祝福でもある。やがて主イエスがこの地上に、救い主として誕生するその時まで長く続く霊的祝福である(25:22、23)。

神の約束は、エサウの憎しみ、ヤコブの押し退ける力でも破棄されない。焦ることなく、主を見上げて進もう。

## ヤコブの生涯

0歳

エサウと共に、 双子の弟として ヤコブ誕生 創世記25章	祖父 アブラハムの死 と埋葬	兄エサウから 豆の煮物と交換に 長子の特権を 譲り受ける 創世記25章	母リベカと共に エサウの祝福を 父イサクから だまし取る 創世記27章	エサウから逃れるために 家を離れ、 パダン・アラムへ 出発する 創世記28章	旅の道中で、天に諭じる 階段の夢を見、 神から祝福の 約束を受ける	伯父ラベンの家につき、 ラケルと出会い 結婚を申し出る 創世記29章
---------------------------------------	----------------------	---	---	--	--	---

ラケルと 結婚するため 7年間ラバンに 仕える	ラバンの策略に より姉レアと 結婚させられる	さらに7年間 仕えることを条件に ラケルと結婚する	ラケルと結婚した ため、さらに7年間 ラバンに仕える	レアとラケル、 ラケルの侍女ビルハ、 レアの侍女ジルパに よって11人の息子が 生まれる 創世記29～30章	伯父ラバンや、 ラバンの息子たちとの いざこざにより、 伯父の家を脱走する 創世記31章	追ってきたラバンとの 和解と別れ 父の家を目指す	ヤコブの選しで 神(神のみ使い?) と格闘する
----------------------------------	------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---	--	--------------------------------	-------------------------------

120歳

兄エサウとの 再会と和解を果たし、 シケムに移り住む 創世記33章	娘ダイナが辱められた ことに怒った息子たちが シケムで虐殺を行う 創世記34章	シケムの人々から 逃げるために、 ベテルに上る	ベテルで神から 祝福を受け、「イスラエル」 という名を受ける 創世記35章	ラケルが最後の息子 ベニヤミンを産むと 同時に死んで葬られる	最期の息子ヨセフが 死んだと聞き嘆く 創世記37章	父イサクの 死と埋葬
--	--	-------------------------------	--	--------------------------------------	---------------------------------	---------------

130歳

147歳

飢饉が訪れ、 食料を調達するため 息子たちを エジプトへ遣わす 創世記42章	ヨセフが 生きていたことを知り エジプトに下る 創世記46章	ゴシェンで 息子ヨセフと 感動の再会を果たす 創世記46章	ファラオと謁見し エジプトに移り住む 創世記47章	息子たちを 祝福して死に、 葬られる 創世記49章
--	---	--	---------------------------------	------------------------------------

※人名表記は新共同訳

### ◎7/5 (水) 祈祷会「熱心な祈りの姿！」

#### 渡邊師 使徒の働き 12:5

新約には「熱心」の語が4回も出て来る。テサロニケでは「非常に熱心にみことばを受け入れ…」とある(使徒17:11)。弟子たちも「教会は彼のために、熱心な祈りを」とある。熱心になる姿は、美しく素晴らしい。

ある小学校の先生が遅刻の子に訳を聞いたら、「夢中で新聞を読んでいたらおくれてしまった」との返事、先生の方が

啞然としたそうです。

ペテロが入獄された非常事態の只中で、ひとつ処に集まりお祈りをしていた。こんな時にお祈りなんかしておられるか！と思う状況の中で、彼らは主の最善を信じ祈っていたのでした。祈りこそ教会の祝福の起爆剤であり、原点であることを覚えてさらに祈るお互いとさせていたたこう。



## 「今後の集会予定／教会情報」

- ◎7/12(水) 定例祈祷会 (PM7:00)
- ◎7/15(土) 清掃奉仕 (AM9:30)
- ◎7/16(日) 楽しい組会 (AM10:00)
- ◎7/16(日) 聖日礼拝 (AM11:00-)

◆ 祈祷会(司)幸子姉(説) 頼子師

● 来週礼拝 創世記 32 : 1 ~ 33

● 主 題 「ヤボクの渡し」

## 定期集会のご案内

- ◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45
- ◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00
- ◇ 早天祈祷会 (火土) 朝6:30~7:00
- ◇ 祈祷会 (水) 午後7:00~8:15

## 来週 の 奉 仕 者

- ◎ 礼拝司会 中川 兄
- ◎ 礼拝奏楽 頼子 師
- ◎ 礼拝献金 北村 姉
- ◎ 受 付 中西 兄
- ▽ 教会学校 随 時
- ▽ ヤ ン グ 随 時
- ▽ さー来る① 当 日
- ▽ さー来る② 当 日
- ▽ さー来る③ 当 日
- ▽ 昼食当番 な し
- ▽ アッシャー 中川 姉
- ▽ S S 入力 頼子 師
- ▽ P P T 操作 小坂 姉

《《《 2023年 松阪教会スローガン「乗り越える！」(+) (プラス) 》》》  
「ヨセフは実を結ぶ若枝…その枝は垣を越える」 (創49・22)

## 礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ② 始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。



道に迷ったら、  
道を知ってる人に  
聞くのが  
一番だよ。  
旅も人生も  
聞き上手になろう。

